

TAY TWO



個人投資家向説明資料

株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2010年7月1日 代表取締役社長 大橋康宏



目次

第1章 テイツーグループのご紹介

第2章 決算概要

第3章 今後の成長戦略

第4章 投資家の皆様へ

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO., LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日(JASDAQ)
本社	岡山県岡山市北区今村650-111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1ダヴィンチ芝パークA館8F
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取、新刊書籍の販売及びビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイト 古本市場online <small>www.furu1online.net</small> の運営
グループ会社	インターピア株式会社
従業員数	正社員467人、パート・アルバイト1,722人、計2,189人(2010年5月末現在)
資本金	1,165百万円(2010年5月末現在)
発行済株式数	551,400株:単元株制度なし(2010年2月末現在)
株主数	5,935名(2010年2月末現在)

■ 経営理念

「満足を創る」

■ スローガン

Customer Value Creation ～顧客価値の創造～

■ 行動指針

テイツーの七感

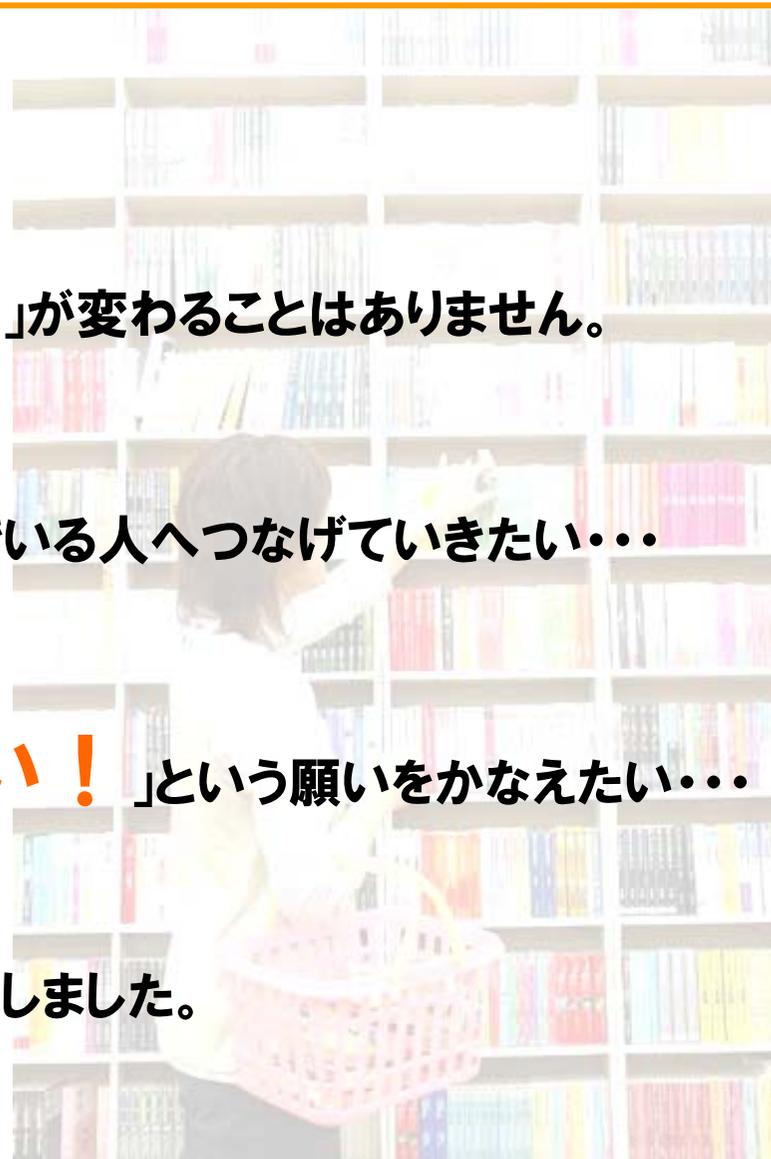
- 変化を観る「目」をもつ
- お客様の声を聴く「耳」をもつ
- 親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- 自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- 常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

… 本そのものは古くなっても、
その内容が私たちに与えてくれる「**感動**」が変わることはありません。

読み終えて人の「**感動**」を、まだ読んでいる人へつなげていきたい…

「**あの本にもう一度会いたい！**」という願いをかなえたい…

そんな思いから ふるほんいちば
古本市場 は誕生しました。



ご家族で楽しめる

廉価な娯楽の提供

本・テレビゲーム・DVD・CDなどを1箇所でお買い上げいただける

楽しさと利便性の提供

最新作から旧作まで時間軸の広がりを楽しめる

奥行きのある品揃え



ふるほんいちば

古本市場事業

新品/リサイクル品の書籍・ゲーム・DVD・CDの販売・買取

ふるほんいちば

古本市場

EC事業

書籍・ゲーム・DVD・CDのインターネットによる通信販売・買取

古本市場 ふるいち オンライン
www.furu1online.net

アイ・カフェ事業

インターネット・コミック・カフェ

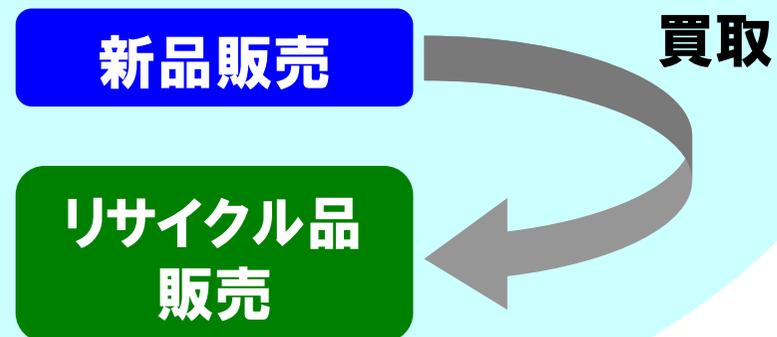


二つの複合化による顧客満足の実現

取扱商材の複合化



新品とリサイクル品の複合化



成熟市場における「勝ち組」であり続けるために

① 大型店舗による圧倒的な品揃え

- ・ 標準店舗は約200坪、駐車場完備
- ・ 古本20万冊、ゲームソフト1.5万本、DVD・CD1.5万枚

② 地域集中出店

- ・ 地域集中出店による、圧倒的な域内シェアの獲得

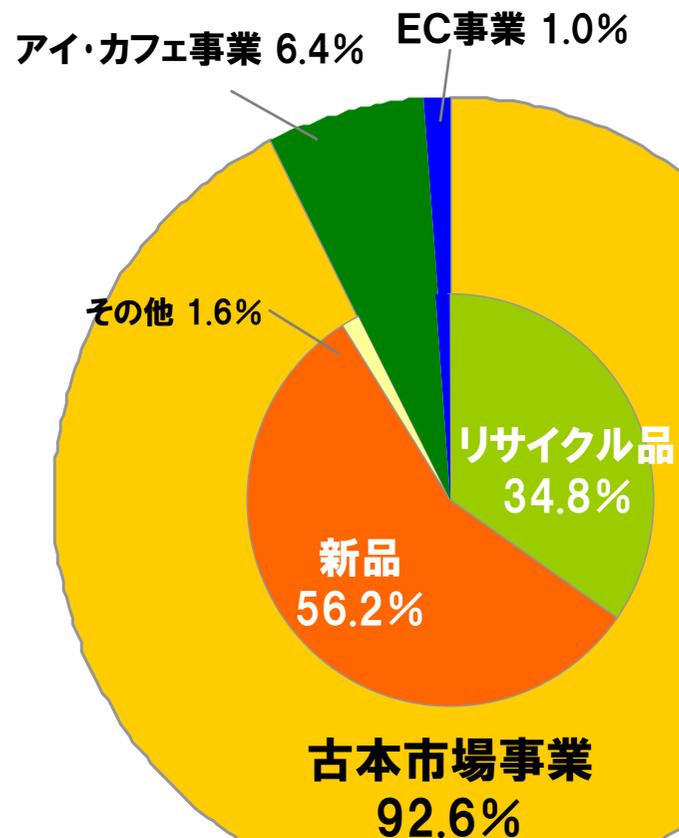
③ 第3次CRM(顧客情報)システム

- ・ 「ふる1カード」による顧客管理
- ・ ポイント付与によるリピート率の向上
- ・ オンライン、完全リアルタイム単品管理

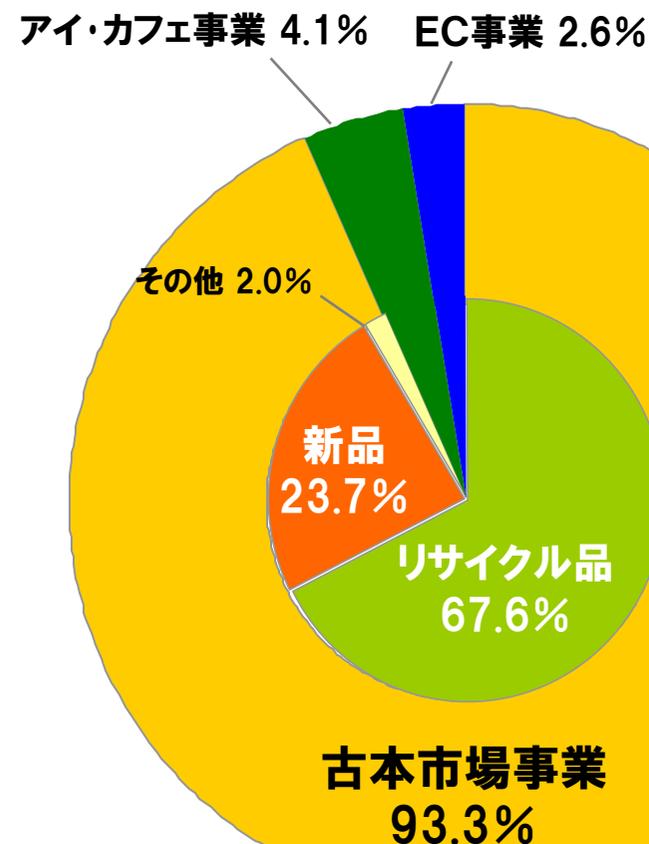


▲ふる1カード

売上高構成比



売上総利益構成比



※2010年2月期の数値

アイ・カフェってどんなところ？



株式会社ティーツ
Tay-two Co.,Ltd.

～快適な時間と空間を選ばれたお客様に～

Comfortable Time and Space for the Selected Customer

直営店:17店、FC店:15店 (2010年5月末現在)



EC事業ってどんな中身？

ふるいちオンラインサイト



実際の店舗と同じく、
古本から新品 / 中古ゲーム・DVD・CDまで幅広い品揃え

- 古本引当在庫数: **1,500万冊**
- 適切なSEO対策を実施し、ページ訪問数を増加

携帯電話からのサービスへの展開

携帯電話3社全てに事業展開

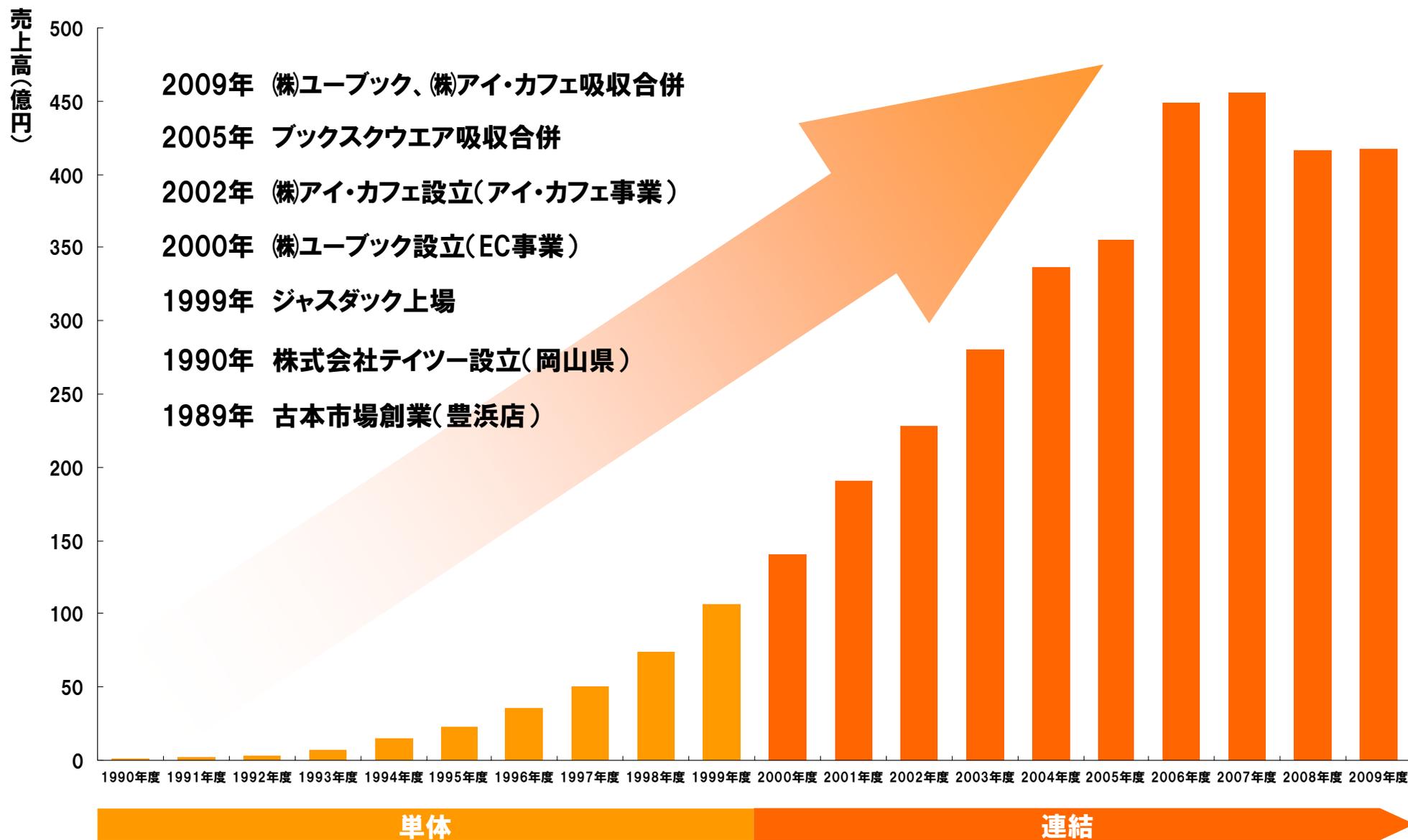
- NTTドコモ i-mode®
- ソフトバンク Softbank live!®
- au EZweb®



▲携帯電話版画面

URL : <http://www.furuichionline.net>

テイツーグループの歩み



【成長の源泉】

当社グループが長期継続的に成長し、満足を創るための原動力

I. ベンチャースピリッツ

～“チャレンジ精神”を忘れない～

II. カイゼンと革新

～常に最良の方法を追及する～

III. 倫理観

～社会の要請にお応えする～

これからもテイツーは「成長」を目指します

目次

第1章 テイツーグループのご紹介

第2章 決算概要

第3章 今後の成長戦略

第4章 投資家の皆様へ

2010年2月期 決算概要

(単位:百万円)

	2009年2月期	2010年2月期	
			前年同期比
売上高	41,593	41,760	0.4%
売上総利益	10,547	10,591	0.4%
営業利益	895	1,206	34.7%
経常利益	845	1,124	33.1%
当期純利益	138	741	436.7%

個人消費低迷の中でも、前期比で増益

- ・ 古本市場事業 前期比で増収・増益。各種費用削減により、営業利益は**増益**
- ・ アイ・カフェ事業 前期比減収となったものの、原価低減や本部経費の削減等により、営業損益は**黒字化**
- ・ EC事業 ふる1オンライン会員数 **80万人突破** 営業損益は**マイナス**
- ・ 税金関係 連結子会社の吸収合併に伴って、繰越欠損金の引継ぎによる法人税額の減少、
税効果会計の影響等もあり、**過去最高の当期純利益**を計上。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2009年2月期末		2010年2月期末		
		構成比		構成比	増減
流動資産	6,072	53.6%	5,780	51.0%	△291
固定資産	5,254	46.4%	5,554	49.0%	300
資産合計	11,326	100.0%	11,335	100.0%	9
流動負債	4,095	36.2%	3,966	35.0%	△129
固定負債	2,528	22.3%	2,050	18.1%	△478
負債合計	6,623	58.5%	6,016	53.1%	△607
純資産合計	4,702	41.5%	5,318	46.9%	616
負債純資産合計	11,326	100.0%	11,335	100.0%	9

- ・借入金の返済と利益剰余金の増加により、貸借対照表における純資産の割合が上昇。
- ・有利子負債は総資産の23.4%、自己資本比率は46.0%と、きわめて健全な財務状態。

キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2009年2月期	2010年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	132	1,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△501	△325
フリー・キャッシュ・フロー	△369	1,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	622	△1,428
現金及び現金同等物の増減額	253	△291
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,308	1,016

2011年2月期 通期計画

(単位:百万円)

	2010年2月期実績	2011年2月期計画	
			増減率
売上高	41,760	42,000	0.6%
古本市場事業	38,699	39,000	0.8%
アイ・カフェ事業	2,675	2,550	△4.7%
EC事業	460	500	8.6%
消去	△74	△50	—
営業利益	1,206	1,050	△13.0%
古本市場事業	2,160	2,040	△5.6%
アイ・カフェ事業	35	40	14.1%
EC事業	△28	0	—
消去	△961	△1,030	—
経常利益	1,124	1,000	△11.1%
当期純利益	741	500	△32.6%

目次

第1章 株式会社テイツーのご紹介

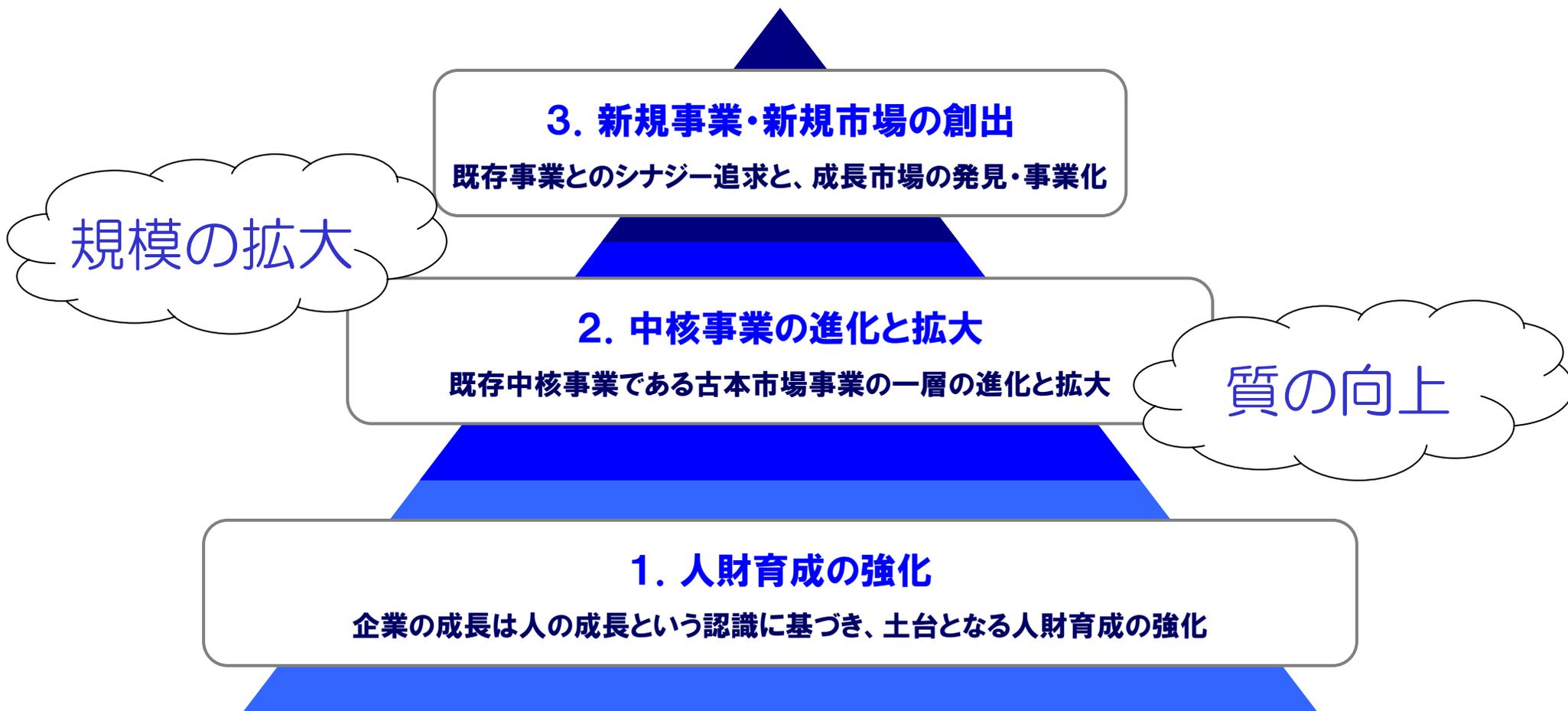
第2章 決算概要

第3章 今後の成長戦略

第4章 個人投資家の皆様へ

長期継続的成長を実現するため、成長戦略の3つの方向性を明確化

長期継続的成長の実現



テイツー人事ポリシー

一人ひとりの自律的な成長へのチャレンジが、テイツーの原動力

1. テイツーは、商人力と高いレベルでのチームワーク力の発揮によって、会社へ貢献した人を評価し、報酬と新たなチャレンジの機会によって報います。
2. テイツーは、人と組織の成長を支えるために、透明性の高い評価システムと対話を通じた納得性の高い評価プロセスを常に最良のものとするための努力を継続します。
3. テイツーは、経営理念「満足を創る」を体現する人を育てることこそが社会に対しての責任であると考え、能力と意欲ある人の成長を継続的に支援します。

次の成長に向け、“店舗とオンラインの融合”へ向けた取り組みを開始。

お客様の要望の多様化に応える

+

融合による事業者側の利点を最大化する

※お客様の様々な要望

- ・店舗が近くにある
- ・商品説明がほしい
- ・対人接客がほしい
- ・買いたいものが決まっていない

- ・店舗が近くにない
- ・店舗に行く時間がない
- ・短時間で買い物を済ませたい

店舗



相互補完



オンライン

融合による利点

- ・在庫の**共有**
- ・顧客データの**共有**
- ・店舗への**お客様誘導**
- ・運営統合による**経費削減**
- ・成長分野のEC市場での**果実獲得**

各種調査活動の実施や他社との業務提携の検討のほか、以下の施策を実施

施策①

新規事業計画公募制度の実施

施策②

新規事業開発部門の強化

施策③

各種リサーチ実施、M&Aの検討・実施

目次

第1章 株式会社テイツーのご紹介

第2章 決算概要

第3章 今後の成長戦略

第4章 個人投資家の皆様へ

株価と株式指標について

株価	一株当たり当期純利益 (EPS)	株価収益率 (PER)	株価純資産倍率 (PBR)
6,120円	1450.6円	4.2倍	0.6倍

(2010年6月25日現在。EPSは前期実績。)



社名	株式会社テイツー
市場	JASDAQ
銘柄コード	7610

基本方針

- ① 連結業績に応じた配当の実施(連結配当性向25%以上)
- ② 自己株の機動的な取得による、総株主還元性向の向上
- ③ 将来の事業展開に備えた内部留保の充実

※特別な損益等の特殊要因により税引後当期純利益が大きく変動する場合には、その影響を考慮した配当を実施

総株主還元性向の実績と計画

	第16期(実績) 2005/3-2006/2	第17期(実績) 2006/3-2007/2	第18期(実績) 2007/3-2008/2	第19期(実績) 2008/3-2009/2	第20期(実績) 2009/3-2010/2	第21期(予想) 2010/3-2011/2
連結当期純利益	160百万円	198百万円	634百万円	138百万円	741百万円	500百万円
総還元額(①+②)	111百万円	112百万円	183百万円	160百万円	168百万円	未定
配当金(①)	111百万円	112百万円	131百万円	130百万円	153百万円	未定
1株当たり年間配当	220円	220円	260円	260円	300円	300円
自社株買い(②)	-1百万円	-1百万円	51百万円	30百万円	14百万円	未定

テイツーの店舗網

古本市場

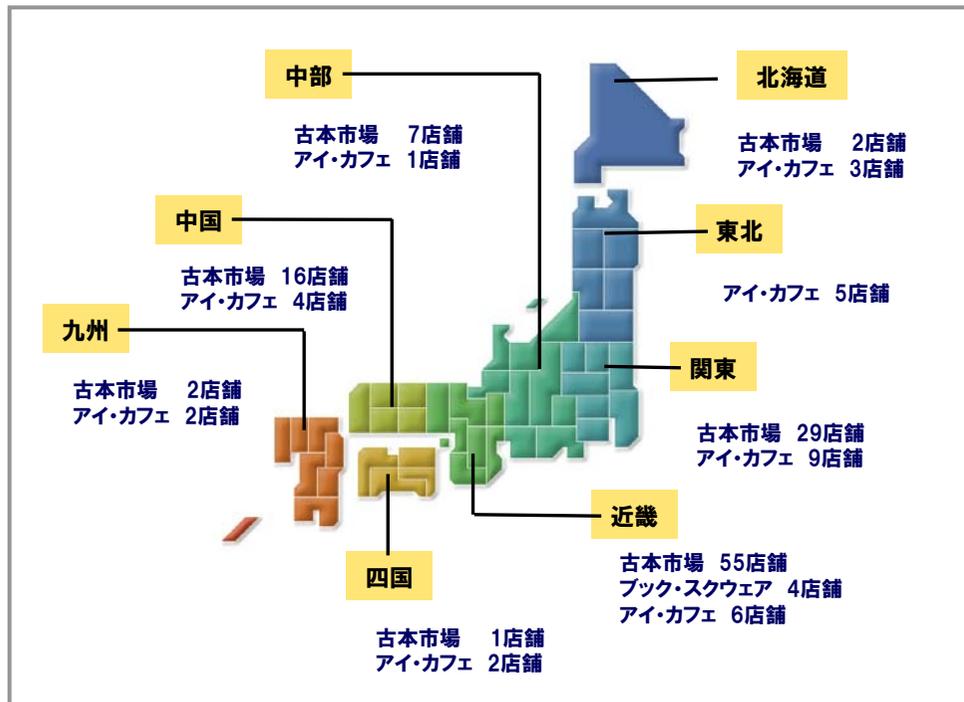
112店舗

ブック・スクウェア

4店舗

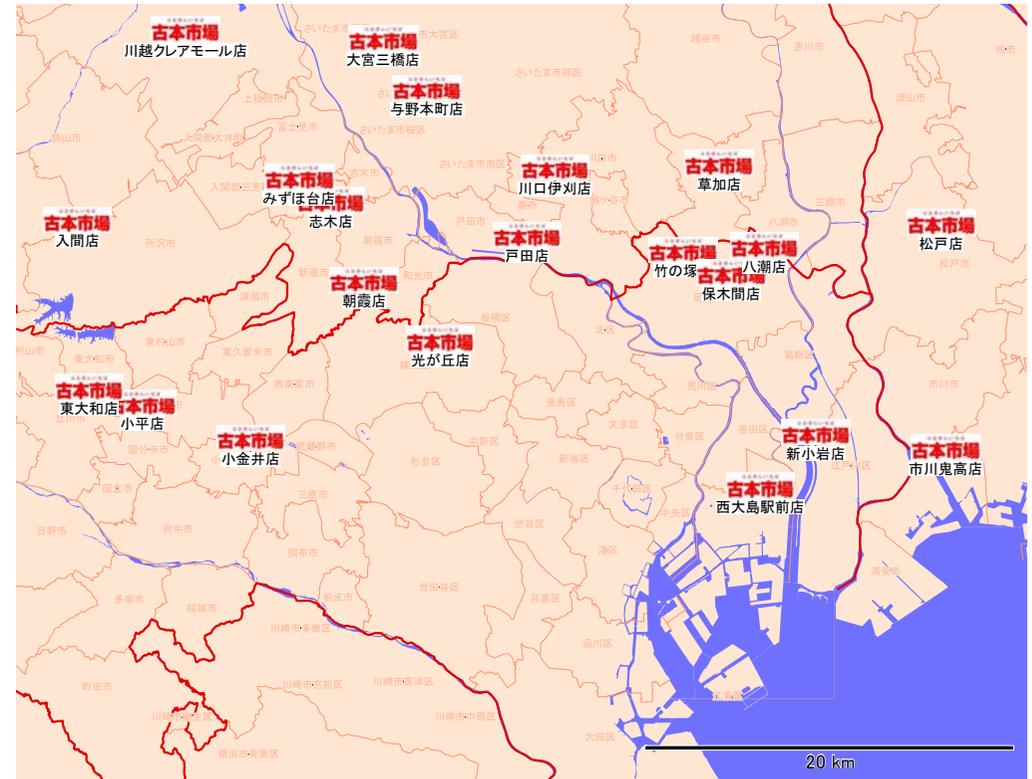
アイ・カフェ

32店舗



2010年6月末現在

近隣店舗のご案内



古本市場の店舗展開

東京都	埼玉県	千葉県
7店舗	20店舗	2店舗

※各店舗の詳細につきましては、ホームページをご参照ください。

テイツー・グループ・スローガン

Customer Value Creation

～ 顧客価値の創造 ～

本資料は、2010年2月期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2010年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口	経営企画部 片山 靖浩・宮原 理・徐(ソウ)チョンホン
TEL	03-5408-5532
FAX	03-5408-5501
E-mail	ir@tay2.co.jp

<http://www.tay2.co.jp>